

農業委員会長に磯野均氏 会長職務代理者に小杉弘之氏を選出



磯野 均氏



小杉弘之氏

6月30日の任期満了に伴う町農業委員会選挙は6月23日に告示され、各選挙区とも定数を超える立候補者はなく、無投票当選が決まりました。

また、議会及び農業団体推薦により7名の方が農業委員として選任されました。

当選者並びに選任された方は次のとおりです。(敬称略)

- 第一区
- 桑野 功 64 無新(矢又)
 - 高嶋 善壽 67 無現(馬頭)
 - 佐藤裕一郎 60 無現(大内)
 - 薄井 良一 60 無新(健武)
 - 谷田 廣一 59 無元(小口)
 - 大門 正一 68 無新(松野)
 - 磯野 均 62 無現(北向田)
 - 塚田 秀知 67 無新(盛泉)
 - 鈴木 重徳 69 無現(小砂)
 - 阿久津 功 57 無新(久那瀬)

- 滑川 佐内 67 無新(谷川)
- 小船 義実 60 無元(大山田下郷)

第二区

- 星 光男 65 無新(芳井)
- 佐藤 勝夫 76 無現(小川)
- 奈良 順一 56 無現(谷田)
- 鶴時 貞雄 59 無現(小川)
- 石川 栄和 75 無現(谷田)
- 小杉 弘之 67 無現(片平)
- 小泉 賢 64 無現(小川)
- 佐藤 幸一 60 無現(白久)

議会及び農業団体推薦
議会推薦

- 佐藤やよひ 61(薬利)
- 永山 律子 64(大山田上郷)
- 益子 幸江 56(久那瀬)
- 和泉 芳江 54(小川)
- 農業協同組合推薦
- 佐原 宏治 57(浄法寺)
- 農業共済組合推薦
- 鈴木 繁夫 71(東戸田)
- 土地改良区推薦
- 高村 泰正 57(薬利)

また、農業委員会初総会が7月3日に開催され、会長に磯野均氏(62歳)、会長職務代理者に小杉弘之氏(67歳)がそれぞれ互選されました。なお、委員の任期は平成24年6月30日までの3年間となります。



こころの健康づくり

「コミュニケーションを考える」

「そんなつもりじゃなかったのに、アア誤解されちゃったかな?」「私の要求ってムリかしら?」「本当は気が進まないけど、断るのもなんか悪いし、きらわれちゃうから・・・」など、自分の気持ちをうまく言えず、毎日いろいろためこんでいませんか。求めたいこと、断りたいこと、わかかってほしいこと・・・あなたが伝えたいなら言ってみてください。気持のよい人間関係を築くには、まず自分を表現することから始まります。

「気持ち」を表現することが「コミュニケーションのコツ」

単に用件を伝えるだけでなく、気持ちを表わす言葉をひとことプラスするだけで、相手は耳を傾けやすくなります。自分のほつも身構えていた固さがとれるよつです。「やっぱり行きたくない」「今さ

ら悪いんだけど、やっぱり行きたくない」「聞いてほしいことがある」「うまく言えるか不安なのですが、聞いてほしいことがあります」「また約束忘れるなんて!」「また約束忘れるなんて、悲しいし腹がたつちゃうよ」「腹が立つ」と気持ちを伝えることと「なんなの!ひどいじゃない!」と怒りをぶつけることとは別です。「うれしい」「悲しい」「イヤな気分です」などと言葉にするのは表現ですが、怒鳴ったり、プスッとしたりするのは行動です。感情的行動は、人間関係を悪化させることが多いのでくれぐれ避けましょう。

「アサーティブ・コミュニケーションのすすめ」

アサーティブとは、相手(他者)のありのまま(権利)を侵害せずに、誠実・率直・対等な立場で、自分の気持ちや意見をわかりやすく伝えることです。怒りを爆発させる攻撃型、遠慮して言い出せない受身型、遠回しや皮肉で伝えたり、あとで仕返ししたりする作爲型など、さまざまな状況で、ついできてしまう伝え方のクセはありませんか。アサーティブは、自分にも相手

(他者)にも感情的な行動をしないように、その力を身につけることなのです。その力とは、自分と周りの人を肯定できること、つまり自分が自尊心を持ち、他者の自尊心も尊重できることです。お互いの人権を尊重した上で、価値観の異なる人と向き合つて、攻撃するのではなく黙るものでもなく、粘り強く対話をしていこうということが基本です。

「まずは、身近な家庭から」

親子、兄弟でもアサーティブの考え方は同じです。感情のぶつかり合いは、うまく気持ちを表現して伝える力が育ちませんので、意識してコミュニケーションをとると良いでしょう。この力は、「生きる力であり、技術です」から、子どもから大人まで、きつといるいるな面に役に立つと思えます。



認知症家族介護教室のご案内

町では、在宅で認知症高齢者を介護されている家族の方を対象に、認知症の知識や介護について学ぶとともに、介護者同士の情報交換の場とし、さらに家族の抱える身体的・精神的な負担の軽減を図ることを目的に「認知症家族介護教室」を次のとおり開催します。

回数	日 時	内 容
1	8月4日(火) 午後1時30分 ～午後3時	開講式 講話 「認知症について」 講師 地域活動支援センター「きらり」 施設長 吉田 麻里香 氏
2	9月7日(月) 午後1時30分 ～午後3時	講話・話し合い 「認知症高齢者を介護することについて ～みんなで悩みを分かち合いましょう～」 講師 社会福祉法人「悠々の郷」 理事長 高橋 紘一 氏
3	10月20日(火) 午後1時30分 ～午後3時30分	講話・実技 「アロマで気持ちをリラックス」 講師 「メアリーローズ」 アロマセラピスト 工藤 みほ 氏
4	11月10日(火) 午前9時30分 ～午後3時30分	施設見学 「認知症でも安心して生活できる住まい」 午前 小規模多機能型居宅介護施設「ひだまり」・グループホーム「アペーテ」 午後 グループホーム「生きいきの里」
5	1月20日(水) 午後1時30分 ～午後3時	講話・実技 「マッサージで身も心もリフレッシュ」 講師 栃木県健康倶楽部 健康運動指導士 小室 史恵 氏
6	3月5日(金) 午後1時30分 ～午後3時	講話・話し合い 「家族会について」 助言者：ほっとからすやまケアサポートセンター 主任ケアマネージャー 佐藤智子氏

対象者 在宅で認知症の方を介護されている方、または認知症の介護に関心のある方

場所 小川総合福祉センター すこやか共生館

参加費 無料(材料費等実費を徴収することがあります)

申し込み 7月24日(金)までに電話等で直接お申し込み下さい。

問い合わせ・申し込み先 地域包括支援センター☎0287-96-2161(担当:立川)へお申し込み下さい。

かつて、関東の一圓を征して、自ら新皇と称した平将門も、一族貞盛や藤原秀郷に攻められ、天慶三年滅亡した。その折り、三島城主であった小高出雲守将良は、一族を引き連れ、和見に来て黄泉寺を建立して出家した。ほどなく、将門の女が将良を頼つて来て、髪をおろし女蔵比丘尼と称したが、将門の子を宿していたので、和見の横穴の中でひそかに出産、相馬太郎良門と名付けたが、このことを世にはばかつて、唐土帝王のお后が、ざん言によつて、この地に逃れ来たと言いつつ触らした事から、この横穴を「唐の御所」と呼ぶようになったと伝えられる。

日本には、弥生時代頃から大陸、特に朝鮮半島と交流が深く、降つて半島三国間の抗争が激しくなると、その難を逃れ平和を求め、以来多くの渡来人が来日し、日本もこれを受け入れ、地方にも移配して、新たな治政・産業・文化をもたらした。地域振興に多くの成果を及ぼした。



唐の御所(和見)

わつた事績として、官衛・国造碑・寺院等が。産業では、国山・荒神平の古窯跡・武茂の採金等。又、多くの古墳や「白久」など、新羅人が住した地名もあり、共存共栄、儒教に基づく理念で地域の振興に貢献した。

「唐の御所」は、帰化人にかかわる墳墓と考える。横穴墓群中、他に例の無い優れた構造で、国の史跡指定を受けている。

「唐」は「トウ」で死者を祀る所を意味している。

那珂川町は、正に「まほろば」、すぐれた住みよい所である。

文化財愛護会会員
堀江孝四郎

シリーズ那珂川町の民話

唐の御所

No. 4

